

共同代表

潮谷 義子（社会福祉法人恩賜財団済生会 会長、社会福祉法人慈愛園 相談役、元熊本県知事）
 柏女 霊峰（淑徳大学総合福祉学部 特任教授）
 相澤 仁（山梨県立大学・大分大学 特任教授）

幹事

相澤 仁（山梨県立大学・大分大学 特任教授）
 新井 淳子（一般社団法人こどもみらい横浜 代表理事、横浜市フォスタリング機関さくらみらい 担当理事）
 柏女 霊峰（淑徳大学総合福祉学部 特任教授）
 上鹿渡和宏（早稲田大学人間科学学術院 教授、早稲田大学社会的養育研究所 所長）
 河野 洋子（特定非営利活動法人 chields 代表理事、大分大学福祉健康科学部 講師）
 北川 聡子（社会福祉法人妻の子会 理事長、日本ファミリーホーム協議会 会長）
 佐藤まゆみ（淑徳大学 総合福祉学部 准教授）
 潮谷 義子（社会福祉法人恩賜財団済生会 会長、社会福祉法人慈愛園 相談役、元熊本県知事）
 長田 淳子（二葉乳児院 副施設長、フォスタリングチーム統括責任者）
 都留 和光（二葉乳児院 施設長）
 橋本 達昌（全国児童家庭支援センター協議会 会長、一陽 統括所長）
 藤井 康弘（代表幹事／元厚生労働省障害保健福祉部長）
 宮田 俊男（医療法人社団 DEN 理事長、早稲田大学理工学術院先進理工学研究科教授）
 ロング朋子（一般社団法人 ヘアホープ 代表理事）

設立発起人

※設立発起人の肩書は設立当時（2019年2月当時）

相澤 仁（大分大学福祉健康科学部 教授）
 猪飼 周平（一橋大学大学院社会学研究科 教授）
 市川 亨（共同通信編集局生活報道部 次長）
 大谷 泰夫（日本保育協会理事長、元厚生労働審議官）
 奥山真紀子（国立成育医療研究センターこころの診療部 統括部長）
 大日向雅美（恵泉女学園大学 学長）
 影山 秀人（影山法律事務所 弁護士）
 柏女 霊峰（淑徳大学総合福祉学部 教授）
 上鹿渡和宏（長野大学社会福祉学部 教授）
 唐澤 剛（元厚生労働省家庭福祉課長、元内閣官房地方創生総括官）
 木下 勝之（日本産婦人科医会 会長）
 榊原 智子（読売新聞東京本社 調査研究本部 主任研究員）
 笹川 陽平（公益財団法人 日本財団 会長）
 潮谷 義子（社会福祉法人 慈愛園 理事長、前熊本県知事）
 澁谷 昌史（関東学院大学社会学部 教授）
 土井 香苗（ヒューマン・ライツ・ウォッチ 日本代表）
 永松 悟（大分県杵築市長）
 西澤 哲（山梨県立大学人間福祉学部 教授）
 西島 善久（公益社団法人 日本社会福祉士会 会長）
 西田 陽光（一般社団法人 次世代社会研究機構 代表理事）
 野澤 和弘（毎日新聞 論説委員）
 林 浩康（日本女子大学人間社会学部 教授）
 板東久美子（日本司法支援センター 理事長）
 福井トシ子（公益社団法人日本看護協会 会長）
 藤井 康弘（元厚生労働省障害保健福祉部長）
 宮島 清（日本社会事業大学専門職大学院 教授）
 宮田 俊男（大阪大学産学共創本部特任 教授、医療法人社団DEN 理事長）
 村木 厚子（元厚生労働事務次官）
 村瀬嘉代子（一般財団法人 日本心理研修センター 理事長）
 山縣 文治（関西大学人間健康学部 教授）
 山本 詩子（公益社団法人 日本助産師会 会長）
 横倉 義武（公益社団法人 日本医師会 会長）
 横堀 昌子（青山学院女子短期大学子ども学科 教授）
 米山 明（心身障害児総合医療療育センター外来療育部長）

お問い合わせ：



一般社団法人
 共生社会推進プラットフォーム
 Inclusive Society Empowerment Platform

TEL 011-600-0693

Email info@isephp.org

URL https://isephp.org/

住所 〒007-0836 北海道札幌市東区北36条東9丁目2-28

第7回 FLECフォーラム

～家庭養護の推進と子ども子育て支援施策の包括化に向けて～

2025年3月14日（金）～16日（日）

家庭養護の推進に興味・関心のある方はどなたでもご参加ください！

プレセッション

3月14日
 15:30～/18:00～
 WEB開催

フォーラム

3月15日・16日
 早稲田大学 国際会議場
 & WEB 開催 ※一部は現地のみ

FLECフォーラムとは

すべての子どもたちに家庭での生活を（Family Life for Every Child: FLEC）
 という思いをこめて、家庭養護とその関連分野にさまざまな立場で携わる関係者が集い、相互のネ
 ットワークの構築・強化を図るとともに、実効性のある施策について意見を交わすことを目的に、
 FLECフォーラムを開催します。家庭養護の推進に興味・関心のある方はどなたでもご参加ください。

第7回の主なトピック

<プレセッション>

- あらためて、こども家庭センターはなぜ必要か
- パーマネンシーを保障する母子生活支援施設の実践と可能性

<メインシンポジウム>

- パーマネンシーを踏まえた家庭養護の推進

<特別講演・鼎談>

- 社会的養護における子どもの養育を考える

<基礎セッション>

- What's 児家セン！？
- 子どもの意見を聴くとはどういうことか

<分科会>

- 家庭支援事業なくしてサポートプランなし～社会起業：家庭支援事業創出のすすめ～
- 子どもの出自を知る権利について考えよう！
- 乳幼児総合支援センター実現への道
- 里親養育の質の向上を目指した里親リクルート

<特別シンポジウム>

- 自立支援の新たな風～支援対象の拡大に向けて～

<クロージングシンポジウム>

- インクルーシブ保育はどこへ行くのか？



全国家庭養護推進ネットワークとは

家庭養護とその関連分野の関係者相互のネットワークの構築・強化を図るとともに、実効性のある施策について、志ある方々が、それぞれの主体間の垣根や主義主張の相違を超え、横断的に交流、討議するプラットフォームとして設立したものです。

共同代表



相澤 仁

山梨県立大学・大分大学
特任教授



潮谷 義子

社会福祉法人恩賜財団済生会 会長
社会福祉法人慈愛園 相談役
元熊本県知事



柏女 霊峰

淑徳大学
総合福祉学部
特任教授

我が国の社会的養護は、今、大きな転換期を迎えつつあります。
令和5年4月、こども家庭庁が発足し、社会的養護を含めたこども関係の政策がこども家庭庁に一元化され、そのこども家庭庁の下で、令和6年4月には、改正児童福祉法が施行されました。

その中では、様々な新たな施策、事業が施行されるとともに、一つの大きな政策の流れとして、子どもたちへの「パーマネンシー保障」ー狭義の社会的養護における特別養子縁組等の施策だけではなく、地域の子どもたち・子育て家庭に対する家族維持支援・家族再統合のための支援を積極的に行うことを含めた「パーマネンシー保障」が、強く打ち出されています。

また、今年度は、社会的養育推進計画の見直しの時期でもあります。各自治体では、改正児童福祉法の施行とともに、社会的養育推進計画の見直しを進めています。

加えて、これまでのFLECフォーラムでも再三にわたり議論されてきた、子ども・子育て支援分野全体における人材の育成確保とそのための財源の問題は、こども家庭庁の最大の課題だと言っても過言ではありません。

このような、我が国の未来にとって最も重要な政策を、実際の子どもたちの養育の現場において推進していくためには、国の政策や予算、努力だけではなく、里親、ファミリーホーム、施設、児童相談所、民間養子縁組あっせん機関、フォスタリング機関、学会、行政、メディアなどの様々な関係者が相互のネットワークを構築・強化しながら、それぞれの現場で関係者が共通認識の下、密接に協力して具体的な対策に取り組むことが必要となります。そして、そのネットワークを、障害児施策や子育て支援施策、母子保健施策、学校教育等にも拡大し、連携と協働を深めていくことも、ますます重要性を増してきます。そのためには、こうした子ども関係の施策に携わる志ある方々が、広く参集し、理念や哲学だけではなく、人材や予算の確保も含めた実際の政策に繋げていくための議論を、可能な限り本音で率直に行うことができるような、プラットフォームが必要となります。

FLECフォーラムは、このような基本的認識の下に、すべての子どもたちに家庭での生活を（Family Life for Every Child: FLEC）という思いをこめて、2019年から毎年開催してきました。

今回が第7回目の開催となりますが、これもひとえに、「全国家庭養護推進ネットワーク」に設立発起人として集っていただいた各界各層の皆様、幹事や事務局としてフォーラムの運営に直接関わっていただいた皆様、登壇者の皆様、そして何よりも各回にご参加いただいた参加者の皆様のご支援とご協力があったからこそです。そのことに深く感謝申し上げます。

さて、今年度のフォーラムでは、「パーマネンシーを踏まえた家庭養護の推進」をメインシンポのテーマとしています。パーマネンシーとは何かを明確にしつつ、自治体における社会的養育推進計画の見直しについて、パーマネンシーの考え方を踏まえた家庭養護推進の方策を盛り込んでいる計画や取組みの紹介を予定しています。

また、プレセッションや分科会、特別シンポジウムにおいては、改正児童福祉法の施行の課題や推進方策を検討するほか、今後の制度改正を見据えたテーマや、これまで深く議論されてこなかった課題についても先駆的に取り上げ、率直な議論ができればと考えています。

さらに、特別講演では、社会的養護の子どもたちの養育のあり方を取り上げるとともに、クロージングシンポジウムでは、インクルーシブ保育をテーマとし、その実態・課題・論点等について、海外の状況も踏まえて、日本でのあり方を検討する先駆的な議論が行われることを期待しています。

このネットワークとフォーラムが、わが国のすべての子どもたちの未来を切り拓く一助となることを切に願っております。

開催案内

	プレセッション	フォーラム	クロージングシンポのみ	レセプション
日時	3月14日（金） 15:30～20:00 ※30分前から入室可	3月15日（土） 9:30～18:00（受付 9:00～） 3月16日（日） 9:30～16:20（受付 9:00～）	3月16日（日） 13:15～16:15 （受付 12:45～）	3月15日（土） 18:30～20:30
場所	WEB （Zoomウェビナー）	ハイブリッド 早稲田大学国際会議場 WEB（Zoomウェビナー）	ハイブリッド 早稲田大学国際会議場 WEB（Zoomウェビナー）	大隈ガーデンハウス 立食パーティー
料金	無料	7,000円／人 （2/14までに支払完了の方） 8,000円／人 （2/15以降にお支払いの方）	無料	3,000円 （2/28までに支払完了の方） 4,000円 （3/1以降にお支払いの方）
申込切込	3月13日（木）	3月14日（金） （お支払いも同日切）	3月13日（木）	3月15日（土）
支払方法	—	支払いは、銀行振込（事前）のみ。 参加申込み後に、口座をご案内。	—	3,000円の方の支払い方法は、 銀行振込（事前）のみ。

※参加者には、事後、録画を提供する予定です。

＜フォーラムの学生割引＞

- ・学生・生徒の方は、フォーラムに1,000円で参加できます。（要：学生証・写真付）
- ・学生割引による参加者は、現地のみ参加できます。Zoomでの参加はできず、事後の動画配信もありません。
- ・学生割引による参加申込みは、当日会場でのみ受け付けます
- ・学生証（写真付）をご持参ください。写真がない学生証の場合には、写真付きの身分証と一緒にご持参ください。

＜フォーラムの当日受付・当日支払い＞

- ・現地のみ参加する一般参加の方は、当日会場受付・会場支払いが可能です。参加費は8,000円です。
- ・当日会場受付・会場支払いの方は、Zoomでの参加はできません。事後録画配信は申し込み可能です。

申込方法

<https://isephp.org/flec07/>

URL、QRコードよりお申し込みください。携帯電話からアクセス可。

プレセッション・クロージングシンポジウムのみ参加の方も、申し込みが必要です。



留意事項

- ・参加費は2日間共通です。1日ごとの価格設定はありません。
- ・WEB参加・会場参加・事後の録画の視聴の参加費は共通です。一部（WEB参加だけ、会場参加だけ、事後録画だけ）の場合も、併用の場合も、参加費は同額です。
- ・参加費はおひとり毎の料金です。同じ端末を使って複数人でWEB視聴する場合は、視聴する人数全員のお申し込みをお願いいたします。
- ・フォーラムのお支払い後のキャンセル、参加費の返金は一切承っておりません。支払い後に参加できなくなった場合は、事後の録画をご視聴ください。
- ・レセプションのみ2月末日までキャンセルを承ります。手数料を差し引いて返金させていただきます。
- ・振込みに時間がかかる場合には、事前にご連絡ください。お申し込み後、一定期間以内に振込みがなく、連絡がとれない方は、参加申し込みを取り消す場合がございます。
- ・領収書が必要な方は申込時にお申し込みください。
- ・国際会議場の井深ホール、ロビーは飲食禁止です。それ以外の部屋内は飲食可です。昼食会場を設けます。
- ・フォーラムの写真は報告書等で公にすることがあります。フォーラムの資料、映像、写真などは著作権法などで保護されています。主催者や作成者の許可なく使用することはできません。
- ・当団体は消費税免税事業者です。インボイス登録はしておりません。参加費は非課税です。

アクセス



早稲田大学早稲田キャンパス国際会議場 東京都新宿区西早稲田1丁目20-14

交通アクセス：

- ・高田馬場駅（JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線）> 徒歩（約20分）
- ・高田馬場駅（JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線）> 都営バス乗車 > 西早稲田バス停 > 徒歩（約5分）
- ・早稲田駅（都電荒川線）> 徒歩（約5分）
- ・早稲田駅（東京メトロ東西線）> 徒歩（約10分）
- ・西早稲田駅（東京メトロ副都心線）> 徒歩（約17分）

大隈ガーデンハウス（25号館2.3F 大隈講堂裏手）

東京都新宿区早稲田鶴巻町538-13

※フォーラム会場（早稲田大学国際会議場）より徒歩8分

タイムスケジュール

	Zoomウェビナー	早稲田大学 国際会議場			
		井深ホール	会議室 1	会議室 2	会議室 3
3月14日(金)	15:30 共同代表挨拶 OD				
	15:45 プレセッション①「あらためて、こども家庭センターはなぜ必要か」 OD				
	17:45				
	18:00 プレセッション②「パーマネンシーを保障する母子生活支援施設の実践と可能性」 OD				
3月15日(土)	9:00 受付				
	9:30 代表挨拶・来賓挨拶 OD				
	9:45 メインシンポジウム「パーマネンシーを踏まえた家庭養護の推進」(第1部) 基調講演(課題提起) OD				
	10:25 (第2部) シンポジスト発表 OD				
	12:00				
	13:00 (第3部) ディスカッション OD				
	14:10				
	14:20 特別講演・鼎談「社会的養護における子どもの養育を考える」 OD				
	15:20				
	15:30 分科会1「家庭支援事業なくしてサポートプランなし～社会起業：家庭支援事業創出のすすめ～」 OD				
	18:00				
	18:30 レセプション -大隈ガーデンハウス-				
3月16日(日)	9:30 特別シンポジウム「自立支援の新たな風～支援対象の拡大に向けて～」 ・基調講演 ・シンポジスト発表 OD				
	11:20				
	11:30 ・ディスカッション OD				
	12:30				
	13:15 クロージングシンポジウム「インクルーシブ保育はどこへ行くのか？」 ・基調講演 ・課題提起 ・調査研究・海外視察報告 ・シンポジスト発表 OD				
	15:15				
	15:25 ・ディスカッション OD				
	16:15 閉会の挨拶 OD				
	16:20				

プログラム

3月14日(金) プレセッション WEB開催	
第7回FLECフォーラムについて(共同代表挨拶・FLECフォーラムのご案内) 15:30～15:45 OD	
柏女 霊峰(共同代表/淑徳大学総合福祉学部 特任教授)	
「あらためて、こども家庭センターはなぜ必要か」 15:45～17:45 OD	
基調講演/進行: 佐藤まゆみ(淑徳大学 総合福祉学部 准教授) パネリスト: 牧戸 貞(三重県桑名市 子ども総合センター長) 橋本 信也(大阪府豊中市はぐくみセンター長) 若林 章都(福島県喜多方市保健福祉部社会福祉課地域包括ケア推進室 子ども家庭総合支援班主任技査(統括支援員))	
助言者: 島岡佐喜子(長野県下伊那郡阿智村 教育委員会こども家庭センター「あちっ子プラザ」センター長) 中板 育美(武蔵野大学 看護学部 学部長 教授) 福井 充(こども家庭庁支援局虐待防止対策課 調整係長)	
「パーマネンシーを保障する母子生活支援施設の実践と可能性」 18:00～20:00 OD	
パネリスト: 那須 里絵(早稲田大学社会的養育研究所 次席研究員) 齋藤 弘美(全国母子生活支援施設協議会 副会長、社会福祉法人大洋社 常務理事) 薬師寺順子(大阪府中央子ども家庭センター所長) コーディネーター: 上鹿渡和宏(早稲田大学人間科学学術院教授、早稲田大学社会的養育研究所 所長)	
3月15日(土) フォーラム1日目 ハイブリッド開催(一部プログラムは、現地のみ)	
オープニング 9:30～9:45 ハイブリッド(WEB & 井深ホール) OD	
代表挨拶: 潮谷 義子(共同代表/社会福祉法人恩賜財団済生会 会長、社会福祉法人慈愛園 相談役、元熊本県知事) 来賓挨拶: 吉住 啓作(こども家庭庁支援局長)	
メインシンポジウム「パーマネンシーを踏まえた家庭養護の推進」 9:45～14:10 OD ハイブリッド(WEB & 井深ホール)	
(第1部) 基調講演(課題提起)「パーマネンシーをめざす子ども家庭支援」 9:45～10:25 畠山由佳子(神戸女子短期大学 幼児教育学科 教授)	
(第2部) シンポジスト発表 10:25～12:00 シンポジスト: 松本 晋治(大分県福祉保健部こども・家庭支援課 副主幹) 古屋 康博(社会福祉法人清浄園 理事、児童養護施設 清浄園 施設長) 西尾 寿一(東京都福祉局子供・子育て支援部長) 長田 淳子(二葉乳児院副施設長、フォスタリングチーム統括責任者) 薬師寺 真(岡山県倉敷児童相談所長) 青木 法子(社会福祉法人 陽のあたる学舎 児童養護施設 立正青葉学園 学園長) 赤尾さく美(一般社団法人全国妊娠SOSネットワーク(全妊ネット)理事、一般社団法人ベアホープ理事)	
助言者: 小松 秀夫(こども家庭庁支援局 家庭福祉課長) コーディネーター: 藤井 康弘(代表幹事/元厚生労働省障害保健福祉部長)	
(第3部) ディスカッション 13:00～14:10	
特別講演&鼎談「社会的養護における子どもの養育を考える」 14:20～15:20 OD ハイブリッド(WEB & 井深ホール)	
特別講演 村瀬嘉代子(公認心理士試験研修センター顧問、大正大学大学院名誉教授・客員教授、北翔大学大学院客員教授)	
鼎談: 村瀬嘉代子(公認心理士試験研修センター顧問、大正大学大学院名誉教授・客員教授、北翔大学大学院客員教授) 花田 悦子(児童養護施設「報恩母の家」施設長) 北川 聡子(社会福祉法人妻の子会 理事長、日本ファミリーホーム協議会 会長)	
司会: 相澤 仁(共同代表/山梨県立大学・大分大学 特任教授)	
基礎セッション 12:50～15:00 会議室2(早稲田大学国際会議場3階) OD	
基礎セッション①「What's 児家セン!？」 12:50～13:50 堀 浄信(全国児童家庭支援センター協議会 事務局長、社会福祉法人 光明童園 理事長) 武田 麻里(全国児童家庭支援センター協議会 事務局次長、和歌山児童家庭支援センターきずな センター長) 津田 克己(全国児童家庭支援センター協議会 研修部長、神戸真生塾子ども家庭支援センター スーパーバイザー)	
基礎セッション②「子どもの意見を聴くとはどういうことか-特に乳幼児を中心に-」 14:00～15:00 相澤 仁(共同代表/山梨県立大学・大分大学 特任教授) 赤塚 睦子(新松戸七丁目の家 代表、養育里親) 北川 聡子(社会福祉法人妻の子会 理事長、日本ファミリーホーム協議会 会長)	

分科会 15:30～18:00

OD

分科会1「家庭支援事業なくしてサポートプランなし
～社会起業：家庭支援事業創出のすすめ～」

ハイブリッド（WEB & 井深ホール）

パネリスト：李 炯植（NPO法人Learning for All 代表理事、
一般社団法人社会的養育地域支援ネット
ワーク 共同代表）

岡田 妙子（NPO法人 パディチーム 理事長）

松田 妙子（NPO法人せたがや子育てネット
代表理事、NPO法人子育てひろば全国
連絡協議会 理事）

齋藤 弘美（全国母子生活支援施設協議会 副会長、
社会福祉法人 大洋社 常務理事）

助言者： 安里賀奈子（こども家庭庁成育局 成育環境課長）

コーディネーター：

橋本 達昌（全国児童家庭支援センター協議会 会長、
一陽 統括所長）

分科会3「乳幼児総合支援センター実現への道」

会議室2（早稲田大学国際会議場3階）

基調講演：増沢 高（子どもの虹情報研修センター副センター長、
日本子ども虐待防止学会 副理事長）

パネリスト：横川 哲（麦の穂乳幼児ホームかがやき 施設長）

安西 恵子（社会福祉法人栄光園
乳幼児総合支援センター栄光園 センター長）

緒方 輝美（社会福祉法人慈愛会 清心乳児園
マネージャー）

助言者： 後藤 博規（こども家庭庁支援局 家庭福祉課長補佐）

コーディネーター：

都留 和光（二葉乳児院 施設長）

分科会2「子どもの出自を知る権利について考えよう！」

会議室1（早稲田大学国際会議場3階）

パネリスト：姜 恩和（目白大学人間学部人間福祉学科 教授）
磯谷 文明（東京弁護士会、日本弁護士連合会 子どもの
権利委員会 委員）

徳永 祥子（立命館大学/早稲田大学 研究員）

藤林 武史（西日本こども研修センターあかし
センター長）

助言者： 柏女 霊峰（淑徳大学 総合福祉学部 特任教授）

コーディネーター：

ロング朋子（一般社団法人ヘアホープ 代表理事）

分科会4「里親養育の質の向上を目指した里親リクルート」

会議室3（早稲田大学国際会議場3階）

パネリスト：渡邊 守（特定非営利活動法人法人 キーアセット
代表理事）

新井 淳子（一般社団法人こどもみらい横浜会長、
横浜市フォスティング機関さくらみらい
担当理事）

長縄 良樹（社会福祉法人日本児童育成会 統括施設長）

岩朝しのぶ（認定NPO法人 日本こども支援協会
代表理事）

北川 聡子（社会福祉法人妻の子会 理事長、
日本ファミリーホーム協議会 会長）

助言者： 藤井 康弘（代表幹事／元厚生労働省障害保健福祉部長）

コーディネーター：

相澤 仁（共同代表／山梨県立大学・大分大学 特任教授）

3月16日（日）フォーラム2日目 ハイブリッド開催

特別シンポジウム「自立支援の新たな風～支援対象の拡大に向けて～」 9:30～12:30

ハイブリッド（WEB & 井深ホール）

OD

基調講演： 恒松 大輔（全国自立援助ホーム協議会 事務局長、自立援助ホームあすなろ荘 ホーム長）

シンポジスト： 村田早耶香（認定NPO法人かものはしプロジェクト 共同創業者）

林 恵子（認定NPO法人ブリッジフォースマイル 理事長）

荒井 佑介（NPO法人サンカクシャ 代表理事）

川村涼太郎（特定非営利活動法人おおいた子ども支援ネット 職員）

小田川華子（公益社団法人ユニバーサル志縁センター 事務局長）

中島かおり（認定NPO法人ピッコラーレ 代表理事）

助言者： 源河真規子（こども家庭庁長官官房 審議官（支援局担当））

コーディネーター： 村木 厚子（全国社会福祉協議会 会長）

クロージングシンポジウム「インクルーシブ保育はどこへ行くのか？」 13:15～16:15

ハイブリッド（WEB & 井深ホール）

※『子どもの保育におけるインクルージョン推進に向けた調査研究 研究会』共同セッション

助成：公益財団法人 日本財団

OD

（第1部）

基調講演： 栗原 正明（こども家庭庁成育局 保育政策課長）

課題提起： 北川 聡子（社会福祉法人妻の子会 理事長、日本ファミリーホーム協議会 会長）

調査研究／

海外視察報告： 光真坊浩史（子どもの保育におけるインクルージョン推進に向けた調査研究 事務局長）

（第2部）シンポジスト発表

シンポジスト： 古渡 一秀（学校法人まゆみ学園 理事長）

米山 明（全国心身障害児福祉財団 全国療育相談センター センター長）

高辻 千恵（大妻女子大学家政学部児童学科 准教授）

松井 剛太（香川大学 教育学部 准教授）

コーディネーター： 柏女 霊峰（淑徳大学 総合福祉学部 特任教授）

（第3部）ディスカッション

閉会の挨拶 16:15～16:20 ハイブリッド（WEB & 井深ホール）

OD

相澤 仁（共同代表／山梨県立大学・大分大学 特任教授）

☐ :無料 ☐ :有料 ☐ OD :後日録画を配信予定

「怪物」「万引き家族」の是枝裕和監督による2004年の作品。
母親に置き去りにされた4人の兄妹が子どもたちだけで生活する
姿を、1988年に実際に起きた事件をモチーフに描いたヒューマ
ンドラマ。

都内のアパートで大好きな母親と喜らす、それぞれ父親の異なる4
人の兄妹。12歳の長男以外の妹弟の存在は大家にすら知らせてお
らず、学校にも通ったことがない。やがて新しい恋人ができた母
親は、わずかな現金と短いメモだけを残し、長男に妹弟の世話を
託していなくなってしまう。この日から、誰にも知られることの
ない、子どもたちだけの生活が始まるが……。

オーディションで抜てきされた柳楽優弥が長男役を演じ、2004年
・第57回カンヌ国際映画祭にて史上最年少かつ日本人初となる最
優秀男優賞を受賞。YOUが母親役を独特の存在感で演じ、加瀬亮
、寺島進、遠藤憲一、平泉成が共演。

2004年製作／141分／日本
配給：「誰も知らない」製作委員会
劇場公開日：2004年8月7日

監督・脚本・編集・プロデューサー：是枝裕和／ゼネラルプロデューサー：重延浩、川城和実／出演：柳楽優弥、北浦愛、
木村飛影、清水萌々子、他 ©「誰も知らない」製作委員会



『REAL VOICE』



本作品では虐待された経験者の人生を追いかけます。
虐待された経験のある全国の若者達の声を集めたドキ
ュメンタリー映画が「REALVOICE」です。
監督も児童養護施設出身。

日本各地の社会的養護を経験した子達や
保護されることはなかった子達の
心の叫びも収録します。

若者たちの「REALVOICE」を発信することを
目的としたドキュメンタリー映画です。

2023年製作／87分40秒／日本

企画・監督：山本昌子／監督補・撮影補・編集：西坂來人／音楽：加藤登紀子、一青窈／出演：阿部紫桜、山本あや、他／
シンボルデザイン：nai／制作：ACHAプロジェクト

『トークセッション』

山本 昌子（『REALVOICE』監督、ACHAプロジェクト代表）

佐藤 剛（西日本こども研修センターあかし 研修事業課長）

藤井 康弘（代表幹事／元厚生労働省障害保健福祉部長）

司会：

宮内 珠希（二葉乳児院 二葉・子どもと里親サポートステーション主任）